戦後恐慌から金融恐慌へ

原 内閣		Ⅰ大戦景気(1915～18) Ⅱ戦後恐慌(1920) Ⅲ関東大震災(1923/9/1 Ⅳ震災恐慌
若槻礼次郎内閣 憲政会	蔵相 片岡直温	震災手形関係法案 提出 金融恐慌 勃発 1 取り付け騒ぎ→東京渡辺銀行 休業 2 東京で6銀行休業 震災手形善後処理法案 議会通過 3月末に一時沈静化
田中義一内閣 立憲政友会	蔵相 高橋是清	金融恐慌最高潮 1 台湾銀行救済緊急勅令案 提出→【 】で否決 2 若槻内閣総辞職 3 台湾銀行休業 終結 1【 】 発令 3週間の支払猶予令を緊急勅令で発令 2 日本銀行非常貸出 全国銀行一斉開業 3 台湾銀行などの救済法公布

3大財閥は？
→
5大銀行は？
→

預金が5大銀行に集中。財閥が金融資本独占をもとに産業界を支配。
さらに政党との結びつきも深めていく。

三菱ー憲政会
三井ー立憲政友会

・1920年代の日本経済
工業の国際競争力の不足とインフレ傾向
1917以来の【 】→為替相場の動揺と下落
金融恐慌の過程で中小銀行の整理・合併